

On Air

むさしのFM市民の会だより Vol.28

オン・エアー 2018

市民が創る
むさしのFM78.2MHz
広報紙

武蔵野市には多くのカフェがある。コーヒー好きな私は、その時の気分に合わせてカフェを選ぶ。
100円でコーヒーが飲め、氷入りの安全な水を無料でくれるなんて、世界どこに行ってもないと思う。
時にはもう少し高い店に行き、優雅な時を過ごす。
そんな街が好きだ。

中村 真由美 (吉祥寺北町)

妻の実家の畑で

農業をやり始めて16年。

庭先販売、スーパーとの

取引、体験農園と形を変えてもいつも

お客さんにありがとうと言われる。

感謝される仕事ができる幸せを

日々感じる。

こちらこそありがとう。

荒井 たかし (境南)

私の とっておきの 武蔵野

いまかいまかと眺めていると、
ある日一斉に綻びはじめる桜並木。

朝に夕に可憐に艶やかに・・・一年で最も緑町に住んでいる幸せを感じる季節です。花をばえこそ留めざりけれ。
満開の姿を留めることなく散ってゆく花吹雪の中、
惜しみつつまた来年を楽しみに待ちます。

金子 あい (緑町)

33歳の時、
三鷹から吉祥寺へ転居。結婚～長女誕生～子育て。
そしていつの間にか古稀(70歳)！
現在、自宅で仕事。ギター演奏、食べ歩き、
プールと全て吉祥寺。毎年、夏はセミの
合唱を楽しみ、環境の良さを
満喫しています。

小林 一夫 (吉祥寺北町)

私の動物病院近くの
井の頭公園や立野公園は、
季節を感じながらジョギングや
犬との散歩を楽しめる場所。今は犬と人、
犬同士が仲良くなれるサポートを
するのが楽しみです。

大村 友之 (吉祥寺本町)

特集 追悼「松岡 裕子さん」

番組にご出演くださった方々からのメッセージ p. 2～3

「むさしの today」2017.4/3～2018.3/30 p. 4～5

「発信! わがまち・武蔵野人」2017.5/5～2018.3/30 p. 6～7

「むさしのFM市民の会 20周年」 p. 6～7

「フクシマを思うシリーズ」報告 他 p. 8

特集

追悼「松岡裕子さん」番組にご出演

～市民の会20周年の記事を組むはずだった28号を、松岡裕子さんの追悼記事に変更いたしました。



繊細で豪快なひと

むさしのFM市民の会初代代表 小美濃 珠子

1月9日突然の訃報に急ぎ札幌への機中のひととなりました。

札幌斎場でお目にかかった裕子さんはまるで羽衣を纏った天女のように美しくそして穏やかで周囲を圧倒する威厳に満ちていました。

むさしのFM市民の会、武蔵野図書館朗読奉仕の会代表を長年にわたり勤められている人生の道半ばでの事でございました。鈴を転がす様な美声で朗読をコーラスを、FM市民の会広報誌「On Air」の編集長をまた茶道への造詣も深く着物をキリッと着こなされ、お料理も得意でした。品性の高い美人でと、まだまだその人柄を表す言葉が見当たりません。溢れる才能が命を縮められたのかと悔やまれます。

偲ぶ会では、ご主人の拓公様は、悲しみに必死で耐えられている中、ほのかに垣間見えた微笑に私達はどれだけ癒されたことでしょう。裕子さんご主人様をずっと見守って下さいね。 合掌

笑顔の松岡裕子さん

ドキュメンタリー監督 早川 由美子



久しぶりに頂いたお電話が、まさか松岡さんの訃報を知らせるものだと、思いもありませんでした。今なお信じがたい気持ちで、筆を執っています。

私が松岡さんと初めてお会いしたのは、2010年に開催された武蔵野・三鷹メディフェスでした。私の初監督作『ブライアンと仲間たち』がメディフェスで上映され、その映画をご覧になった松岡さんが、話しかけてくださったのです。その時の、すてきな笑顔ときれいな声を、今でも覚えています。メディフェスでのご縁で、その後、「発信！わがまち・武蔵野人」に、2010年、2011年、2016年と、3回出演させていただきました。2011年の出演は、忘れもしない3月11日。生放送の収録直後に、スタジオが強い揺れに襲われ、外を見ると、歩行者たちが悲鳴を上げ、ビルの看板までぐにゃぐにゃに揺れている…。初めてみる光景でした。

松岡さんは、311当日の無事だけでなく、その後も、時々私の映画について気かけ、興味を持ち、連絡をくださいました。様々な活動をされ忙しかれているのに、私にまで連絡をくださるなんて…と、とてもありがたかったです。

松岡さんはじめ、むさしのFM市民の会のメンバーの皆さまが育ててくれた「発信！わがまち・武蔵野人」。松岡さんがいらっしやらないのは、本当に残念で悲しいですが、また出演させていただける機会があればと願っています。松岡裕子さんのご冥福をお祈りいたします。



太陽みたいな人

俳優 金子 あい

太陽みたいな人でした。美人で、いつもニコニコ笑っていて、鈴のような声で。遠くからでも松岡さんはすぐ分かりました。とても忙しかったでしょうに、いつも舞台を観に来て応援してくれました。嬉しかったです。イベントも手伝ってくれました。心強くて頼りにしていました。まだまだ、これからもずっと会えると思っていたのに…。松岡さんに会いたいです。あんまり寂しいので、本棚に松岡さんから届いた年賀状を飾っています。ご主人と一緒に旅先の写真はとても素敵で、今にも松岡さんの声が聞こえてきそうです。「行ってきます」と声を掛けると今日も松岡さんが舞台を観に来てくれるような気がするのです。松岡さん、ありがとう。。。



あなたに出会えて本当に良かった

tenbo代表デザイナー 鶴田 能史

私は3年前から吉祥寺でファッションブランドを立ち上げ事務所を構えております。私が独立する前に松岡さんとの出会いがありました。その時から独立を考えており、松岡さんとお話をさせていただく度に私を応援してくださっていました。

私は社会的メッセージも込めているファッションブランドなので、そこに対して松岡さんは大変興味関心を持っていたいており、松岡さんも社会に対して強くメッセージを発信する事に躊躇など感じない強い女性でした。元気でがむしゃらにも頑張っている若者を応援してくれる社会の大先輩。松岡さんにはそのような印象を抱いています。何も後ろ盾のない中でのスタートするブランドでしたが、確かな理解者がいた事で私はいつも安心していました。

最初から私の事をずっと見届けてくださっている松岡さんの訃報には言葉を失いました。

大切な存在を失った事をこのような形で痛感するとは思っていませんでした。でも私の中では松岡さんはいつも微笑んで背中を押してくれる存在です。その思いが生き続けているので私はどんなに辛い事でも突き進んでいきます。

私は世界をファッションで幸せにする！これをずっと公言しておりますが、これを達成する事が松岡さんに対して胸張って報告できる事です。これだけしかできませんが、天国で私の活動を見てくだされば幸いです。私の人生史に確かに存在するとても大切な存在の松岡さんは、私の中で生き続けます。

あなたに出会えて本当に良かった。これから世界の変わりゆく姿を楽しみにしていただきます。

いつも知的な笑顔で
私の背中を押してくれた人

映画監督 金 聖雄

「金さん武蔵野FMにまた出演してくださいね。」いつも知的な笑顔で

私の背中を押してくれた松岡裕子さん。そんな松岡さんが一度だけ怒っている顔を見たことがある。前回FMに出演した時、お偉いさんがこう言った「部落という言葉は使わないで欲しい」。むさしのFM市民の会代表だった松岡さんは悲しそうな顔をして猛烈に抗議してくれた。その凜とした姿を見ることで、私の怒りはおさまリ、気持ち良く映画のことを語ることができた。正義感が強く、映画や演劇、音楽を愛し、武蔵野を愛した松岡さん。彼女が亡くなったというが、未だに信じることができない。しかしそれはきっと現実なんだろう。

最後にお会いしたのは2017年12月20日、新作映画『獄友』の完成試写会だった。上映後にこう言ってくれた「素晴らしかった。武蔵野FM出演よろしくね」最後もやっぱり笑顔だった。しっかりと松岡裕子さんの応援を受け取り、あの知的な笑顔に胸に刻みたい。



くださった方々からのメッセージ

今回急なお願いにもかかわらず、記事をお寄せくださった皆様に感謝いたします。～



原発事故で武蔵野に避難して

緑町 詩人・小島 力

原発事故で都営アパートに避難してきたのは、7年前の4月です。

市役所周辺の桜並木が五分咲きのアーチを作って、さりげなく迎えてくれました。来た当時は知る人もなく、武蔵野市は環境の良い街だという以外、特別な印象はありませんでした。

その後武蔵野市の市民グループの方々との結びつきが生まれ、講演会の開催・詩集「わが涙滂々」の発行と出版記念会・売り捌き活動などで大変お世話になりました。先日若くしてお亡くなりになられた

むさしのFM市民の会 代表の松岡裕子さんには格別なご尽力を賜り、むさしのFMにも何度か出演依頼があり、また詩集出版記念会では司会を務めて下さるなど、この集まりに花を添えていただきました。ありがとうございました。ご冥福をお祈りします。

写真になる人でした

週刊きちじょうじ編集長 大橋 一範



また1年アツという間に過ぎましたね。歳とお暇もないのでは？（私はヘロヘロで～す）では、2018年最初の武蔵野人よろしくお祈り致します。」これが松岡さんから頂いた最後のメール「1／5武蔵野人」です。

2017年12月31日 2:02:15JSTと刻印されていますので、深夜の2時頃にメールをしてくれたのです。

FMに出演する次週武蔵野人予告の、ある種「業務連絡」メールなのですが、タイムリーな「松岡見解」なども添えられることがあり、当方はそれも楽しみにしていました。

週刊きちじょうじに掲載した事例では、2160号「7/26 亜細亜大学野球部リーグ優勝祝賀会」の記事。「亜細亜大学野球部東都大学野球春季リーグ優勝祝賀会が、7月26日渋谷のセルリアンタワーホテルで行われた。」この祝賀会に出席した松岡裕子むさしのFM市民の会代表から、写真が送られて来た。「生田監督に松岡裕子、秋季リーグ必勝祈願Vサインを贈るの図。」のコメント付きで、2ショットの写真を掲載しました。

最後は、昨年の2206号（2017.6.16発行）「早くも『第九』」の記事で、「第45回三鷹市市民コンサートが6月11日、三鷹市公会堂風のホールで開催された。創立60周年の三鷹市管弦楽団と『三鷹第九を歌う会2017』がソリストを迎えてコンサート開催。なんとアンコールに『三鷹市民の歌』が披露された。」写真になる人でした。

平成30年のお正月気分の中、むさしのFM市民の会の私たちは、代表の松岡裕子さんが、帰省中の札幌で入院をなさったことを知りました。その数日後に亡くなられたことを知らされました。札幌でのお別れに行かれない、市民の会から以下のようなお別れの言葉をお送りしました。

『松岡さんは、武蔵野FMの皆さん、ご出演くださるゲストの方、また私たち仲間にも、穏やかで大輪の薔薇のような笑顔で接していらした半面、世の中の矛盾や理不尽なこと、正義に反すること、平和に反することには顔を曇らせ毅然と意見を言っていたことは忘れません。正義感溢れる、バランスの取れたあなたにすっかり頼りきってました。私たちの折りが届かずごめんなさい。まだまだ頼ります。天国で、ご主人様だけでなく私たちも見守って、あと押ししてください。愛してやまない“ふるさと札幌”の大地で安らかにお休みください。』

代表となつてからの松岡さんの活躍に、すっかり頼り切っていた市民の会は、大変ショックを受けています。今後も活動は続けます。変わらぬご支援をお願い致します。

武蔵野市立図書館朗読奉仕の会と一緒に開催しました偲ぶ会へ寄せられましたご厚意にも感謝いたします。



松岡裕子さんの思いで

写真家 大石 芳野

松岡裕子さんは背が高く姿勢の良い美人ですから、どこにいてもすぐに見つけることができました。

目が合うと「あら、大石さん…」ときれいな声で歌うように話しかけてきました。「今日は茶道のお稽古の帰りなの」と着物姿でしゃなりしゃなりと歩き、またある日には「お花のお稽古だったの」と花束を抱えていました。

喫茶店でお喋りをした時、武蔵野市にも話題が広がって多くを教えられました。ある日、私が、3・11からの『福島』の写真を市民に伝える展覧会ができたなら…と話したことがありました。「それは素晴らしい。私も大石さんの福島の写真を見たいわ」と松岡さんは親身になって話に乗り、後日、奔走するなど何につけても誠実で行動的でした。「FMむさしの」の合間を縫っての余暇でのお喋りは楽しいものでした。博識でもありながら控えめな人柄の松岡裕子さんの急逝はとても残念です。信じられません。今でも私そばで微笑んでくれているようです。

いつの日かまた松岡さんにお目にかかれる事を信じて

わかば女性合唱団事務局 高橋 みのる



慌ただしい歳の暮れ、他の一緒に食卓を囲み、「春になったらまた…」と約束してからまだ1ヶ月経ったか、どうかの短い時間のうちに、あなたは遥かなところへの旅支度を計画なさってしまわれたのです。

大寒に入ったにしては暖かい日が続く、この様子だと武蔵野市役所前の桜の花芽も膨らむのではと思っていましたが、今日の東京は5年ぶりの



大雪です。あなたのことをとてもよく知っている友人が「松岡裕子さんという人は、もし誰かが意地悪するように教えても、絶対にそういうことの出来る人ではない」と話してくれました。友人のその一言が、松岡さんのお人柄そのものと感じました。

何年前か、夫も私もテーマは異なりましたが、むさしのFM放送で大変お世話になりました。ありがとうございました。ご冥福をお祈り申し上げます。

「あなたの町の情報を市民が自宅から毎日発信」 「むさしの today」月～金(午前9:20～9:30) 17年4/3～18年3/31放送の話題(5164回～5418回) 再放送：当日19:00～、1週間分 日曜日17:00～

「俺が上手いと言ったから3月25日はホヤ記念日」星野高明(東)「クリーンセンターの屋上菜園の仕事始めについて」新垣俊彦(西)「会話パートナーの会について」木川憲子(桜)「お父バサロンくぶらっと歩こう」ノルディックウォーキングの体験(後藤誠一(北)「弁証法について」山口通(三鷹・下連)

「特別養老老人ホーム・ゆとりえくハンカチの木のバザー開催」小餅友子(南)「ウグイスさえずる独歩の森」田中雅文(境)「武蔵野市郷土史会の今年度のお知らせ」島森和子(北)「稲城市の三沢川沿いの桜見物」岡野正隆(西)「日本フィル武蔵野の会コンサート第29回(流れる叙情)開催・光寿寺」鎌内啓子(北)

「新学期が始まって」川鍋和代(境南)「青少協第1地区委員会の今年度の予定」鬼頭麻佐(本)「東町のさくら情報」原利子(東)「最近嬉しくないことがいろいろと」藤川千草(本)「《花まつり》お稚児さん集う月窓寺」高橋洋子(東)

「ユネスコ未来遺産に登録されたくも摩川上水、分水嶺プロジェクト《プロジェクト未来遺産2016》その後と日比谷公園で開催されるイベントについて」渡邊卓治(八)「認知症に見る言葉づかい」三井一夫(南)「五月の空には新緑が似合うが水辺も欲しい～と明治の森～皇居の堀端コースへ」鹿子木孝男(桜)「市役所でのごみ分別説明会についてと桜まつりのこと」赤松不二子(関)「地震の時あなたはどうしますか?」今村明美(御)

「憲法の話《暮らしと憲法》・《ブラック一歩手前》島津好江(関)「南町フリーマーケット開催」黒木智春(南)「中央コミ《江戸歴史探訪～品川沖での坂本龍馬の痕跡と旧東海道を歩く》」皆藤弥峰(中)「待ちに待った井丸西荻窪オープン!」星野高明(東)「弁証法 その2」山口通(三鷹・下連)

「赤十字会員募集・千川地区写経始まる」栢雲劬子(八)「《0123はらっぱまつり》」行って来ました!川鍋和代(境南)「東町つばめ情報と公園レポート」原利子(東)「地域防災について」木川憲子(桜)「老壮シニア講座の概要」後藤誠一(北)

「信州の花旅」三井一夫(南)「水防訓練で災害時ボランティアとして身近な防水対策を教えます」内田洋行(北)「市内に残る武蔵野の雑木林」田中雅文(境)「アジアゾウくはなこ」像除幕式、東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー歓迎セレモニー」高橋洋子(東)「半世紀ぶりの長崎」岡野正隆(西)

「フクシマを思うシリーズ21～原発事故のほんとうの事、賠償に明け暮れてうつ病になった元東電社員の告白」鎌内啓子(北)「梅雨も近づくと、濃緑に一段と映える紫陽花の季節も間近です」鹿子木孝男(桜)「初夏に響く《みんなのうたごえ》開催」東海林末季(西)「武蔵野ジャンボリーがスタートします」鬼頭麻佐(本)「初夏の千川上水の話題、玉川上水・千川上水の分水門がユネスコ未来の世界遺産にノミネート、日比谷公園緑と水のカレッジに展示される」渡邊卓治(八)

「AA連雀グループ第13回 公開セミナー開催」中澤佳子(三鷹・下連)「《大地の芸術の里》新潟県十日町妻有(つまり)」行って来ました!小餅友子(南)「三角フェスタ開催」市川順子(南)「だんだんこわれていく日本の四季」藤川千草

(本)「弁証法 つづき」山口通(三鷹・下連)

「交通安全活動推進委員の活動について」川鍋和代(境南)「クリーンセンター広場でエコマルシェ開催、野菜の配布も」新垣俊彦(西)「クリーン武蔵野の地域集会」皆藤弥峰(中)「丹後半島の旅」岡野正隆(西)「小さな親切運動について」木川憲子(桜)

「わが青春の武蔵野?中の思い出」三井一夫(南)「南町コミセンニュース6月号から」小餅友子(南)「お父さんお帰りなさいパーティ」島津好江(関)「東京車人基金チャリティだい12回安心安全フェア開催」小林良太(境)「つばめ情報と宮本小路公園情報」原利子(東)

「《日本再生》映画上映と飯田哲也さん講演会」鎌内啓子(北)「旧名主・井口よしめ宅車屋にあった水車にまつわる話」渡邊卓治(八)「東京都公園協会賞について」田中雅文(境)「シクジリおやじ台湾一人旅、初日にガイドブック一式置き忘れ」星野高明(東)「初夏のワイアンフェスティバル」高橋洋子(東)

「玉川上水の様子」今村明美(御)「梅雨に入ったが、雨に逢っても寒くない中では豪雨でない限り歩こう」鹿子木孝男(桜)「赤十字の活動について 赤十字デー・募金など」栢雲劬子(八)「市内の各学校ごとにいる地域コーディネーターの活動」寺島美英子(北)「第1小学校、地域防災ネットワーク合同防災訓練報告」鬼頭麻佐(本)

「中央コミセン夏祭りのお知らせ」皆藤弥峰(中)「最近の境南小学校の子どもたちの様子」川鍋和代(境南)「社会を明るくする運動について、街頭PR」木川憲子(桜)「落語に関するイベント紹介」後藤誠一(北)「あったか祭りのポスター公募」指田ふみ(西)

「福島白河へアウシュビッツ記念館を訪ねて」鎌内啓子(北)「交通機関内でのマナーの悪さ」藤川千草(本)「草原(くさはら)と虫たち」田中雅文(境)「ポーランド映画《残像》」岡野正隆(西)「九甫の家の7月行事のPR～クリーンセンター見学・虫の観察」原利子(東)

「三鷹周辺」田中の様子・弁証法」山口通(三鷹・下連)「コミセンネットワーク事業《むさしの地区外環境問題協議会》活動」小餅友子(南)「歩こう会について」近藤和義(中)「防災推進員のバス研修でリニアモーターカー見学」寺島美英子(北)「語り継ぐ物語《美女と野獣》ミュージカル講座で演じました」高橋洋子(東)

「千川コミセンで写経を始めて3回新しい仲間も増えました」栢雲劬子(八)「北九州では大災害だが、関東では懐かしい夕立、雷も聞こえない、ダムの貯水量が心配」鹿子木孝男(桜)「暑いさなか玉川上水の木陰の散策」渡邊卓治(八)「我が青春の武蔵野中 PART 2」三井一夫(南)「一小的ニコニコ見守り隊」鬼頭麻佐(本)

「夏季平和事業のイベント紹介」島津好江(関)「信州川上村にこの夏は既に3回避暑に、吉祥寺より10度低い高原です」星野高明(東)「体験農園・野菜塾にやぎが来ています、6月～10月まで」荒井たかし(桜)「老人会について」木川憲子(桜)「三鷹図書館・弁証法の続き」山口通(三鷹下連)

「行ってみよう!独歩の森」田中雅文(境)「ジャンボリーに行きます」川鍋和代(境南)「お父バサロン～絵を描くことについて」後藤誠一(北)「《イヌの仇討》こまつ座のお芝居を観てきました」岡野正隆(西)「市議との懇談・東部フェスティバルのお知らせ」原利子(東)

「本宿地区盆踊り大会「本宿音頭」復活」高橋洋子(東)「境教習所で恒例のサマーフェスティバル」小林良太(境)「川上村へ第1小地区武蔵野ジャンボリーに行って来ました」鬼頭麻佐(本)「南コミセンで《コミセン キチコレ ヤァヤァ》開催」福村みさお(南)「友愛訪問と敬老の集い」栢雲劬子(八)

「けやき夏祭り開催」寺島美英子(北)「雑学大学について」三井一夫(南)「玉川上水シンポジウムに参加して」渡邊卓治(八)「市の防災活動は今の様ですが、私の居住棟群では来月から来年末まで補修工事に」鹿子木孝男(桜)「東京消防庁災害ボランティアとして市のはらっぱ防災フェスタに参加」内田道行(北)

☆防災週間特集

「防災バス研修でガス会社の見学に行きました」島津好江(関)「不安定なお天気と防災」藤川千草(本)「ペットの防災」鎌内啓子(北)「防災・日頃注意すること!」中村茂美(南)「関前防災会の取り組み」広江詮(関)

「身近な「緑と水」」田中雅文(境)「一茶のふるさと新潟県柏原」岡野正隆(西)「東部福祉の会20周年記念イベント・夏の東町界隈の報告」原利子(東)「2学期がスタートした境南小の様子」川鍋和代(境南)「三鷹図書館の話」山口通(三鷹・下連)

「老壮シニア講座、9・10月分を紹介」後藤誠一(北)「中央コミセンの防災訓練を中町集会所にて」皆藤弥峰(中)「老人ホームさくら苑でのいきいき体操について」木川憲子(桜)「敬老の日の集いについて」栢雲劬子(八)「消費生活講座「もしもに備える食」武蔵野商工会館にて」高橋洋子(東)

「第3回さくらアンサンブル音楽会 開催」村松二郎(南)「南町コミセン音楽会」小餅友子(南)「八幡町の秋祭り」と子供神輿」渡邊卓治(八)「日本フィル武蔵野の会、ファイナルコンサートのお誘い」鎌内啓子(北)「青少協、第1地区秋のイベント紹介」鬼頭麻佐(本)

「4中公開講座を見学、2年生の防災訓練見学」寺島美英子(北)「味覚も景観も両方楽しみたいが、次第に体力と時間が難しくなってきた」鹿子木孝男(桜)「ボランティア俳句講座を吉祥寺ナーシングホーム・テンミリオンの金木犀で」三井一夫(南)「熱海桜沢からの身近な話題」星野高明(東)「2017三鷹ハロウィーンを三鷹駅周辺で実施」太田みつこ(三鷹・下連)

「吉祥寺オリオンで上映される映画「いつかきみにあいたい」から」青木俊直(北)「プレイスで講演会「児童養護施設18歳の巣立ち」」鈴木邦明(東)「落語同好会」露木小夜子(境)「犬のしつけ教室から、犬のしつけ・行動について」大村知之(本)「三鷹図書館の話題と哲学のやさしいお話」山口通(三鷹下連)

「飛鳥Ⅱ秋の博多～横浜クルーズ・エンターテインメント「平家物語」のマネージャーとして乗船してきました」鎌内啓子(北)「雑木林で秋を楽しむ」田中雅文(境)「最近の東町のニュースあれこれ」原利子(東)「公会堂でマジックショー開催」伊藤和男(中)「モンクロシャチホコ～井の頭恩賜公園開園100周年記念「ふかぼり井の頭」」高橋洋子(東)

「絵本屋さんのハロウィン、お楽しみに」富樫チト(本)「「知り合い・ふれあい・支えあう 福祉の輪」開催」小餅友子(南)「武田最後の城 新府城」岡野正隆(西)「老人会について」木川憲子(桜)「お父バサロン、バドウォッチング」後藤誠一(北)

「飛鳥Ⅱ秋の博多～横浜クルーズ・エンターテインメント「平家物語」のマネージャーとして乗船してきました」鎌内啓子(北)「雑木林で秋を楽しむ」田中雅文(境)「最近の東町のニュースあれこれ」原利子(東)「公会堂でマジックショー開催」伊藤和男(中)「モンクロシャチホコ～井の頭恩賜公園開園100周年記念「ふかぼり井の頭」」高橋洋子(東)

「武蔵野第1中学校開校70周年行事について」鬼頭麻佐(本)「学校開放に参加して」川鍋和代(境南)「市政70周年記念行事と八幡町」渡邊卓治(八)「10月～11月来年度のウォーク計画図、私は二つの会の計画が重なる」鹿子木孝男(桜)「中央コミセンの文化祭」皆藤弥峰(中)

「けやき文化祭と同時に行われる街づくりフェスタ」寺島美英子(北)「福祉の会だより抜粋冊子「うどの花」について」島津好江(関)「市の総合防災訓練について」原利子(東)「体験農園の様々なイベント・畑の癒しなどの役割について」荒井たかし(桜)「安全ホームドアについて」山口通(三鷹・下連)

「環境フェスタに行こう」田中雅文(境)「石神井公園散策、この時期石神井公園城跡柵が開き見学」岡野正隆(西)「お父バサロン、ふるさと歴史館を見学」後藤誠一(北)「我が家の前の街路灯が真っ暗で困った、LED街路灯に」星野高明(東)「平和の日関連イベントについて」小餅友子(南)

「フクシマを思うシリーズ21「福島」の農業、放射能汚染と向き合う」鎌内啓子(北)「最近のクリスマスイルミネーション」藤川千草(本)「千川地区社協が20周年を迎えます」栢雲劬子(八)「社会活動センター秋のふれあい文化祭」高橋洋子(東)「クリーンセンター屋上菜園の冬支度」新垣俊彦(西)

「八幡町のイベント・活動など」渡邊卓治(八)「福島 心の復興支援、ランタンプロジェクトの紹介」鬼頭麻佐(本)「秋の旅だより」三井一夫(南)「大野田地域で防災訓練実施」寺島美英子(北)「井の頭自然文化園で「谷口高司 野鳥原画展」を観てきました」川鍋和代(境南)

「地域防災訓練実施」木川憲子(桜)「寒い季節に入ると、屋外行事計画を数本予定する身には、天気予報に惑わされる」鹿子木孝男(桜)「中コミセンの餅つき大会があります」皆藤弥峰(中)「1中のフェスタ報告」今村明美(御)「空の旅の話」山口通(三鷹・下連)

「生まれて初めての経験、こんな楽しみがあったのか!」R大回り」星野高明(東)「水の学校のサポーターとして、東町下水合流改善施設を見学」内田道行(北)「お父バサロン「認知症はこわくない」開催」後藤誠一(北)「新年の隠し湯 湯村温泉(甲府)」岡野正隆(西)「むさしのFM開局当時の思い出、突然降り出した雨で思うこと」藤川千草(本)

「中央福祉の会「親子にこここ広場」のクリスマス会」皆藤弥峰(中)「史談会で羽村に行って来ました」島津好江(関)「地域福祉総合計画市民意見交換会・武蔵野消防署吉祥寺出張所見学」原利子(東)「老人会の活動」木川憲子(桜)「ランタン作りの様子」鬼頭麻佐(本)

「師走のけやきコミセンでは色々な活動をしています」寺島美英子(北)「市民社協40年記念演劇を楽しむワークショップに参加して」川鍋和代(境南)「地域福祉協議会で栃木県大谷採石場見学」栢雲劬子(八)「史談会の活動に参加して」渡邊卓治(八)「この1年を振り返って、いつの日か実現したい事が10月に2つも実現」鎌内啓子(北)

「クリスマスの季節」高橋洋子(東)「9月以来の足場囲いが漸く撤去され、直接の冬陽が暖かさを届けてくる」鹿子木孝男(桜)「本所両国の散策について」三井一夫(南)「お正月に参加してみよう」小餅友子(南)「独歩の森の師走」田中雅文(境)

「成年生まれです」高木麻理子(三鷹・下連)「新春の武蔵境を楽しむ」田中雅文(境)「酉年から戌年へ」島津好江(関)「第3小学校校庭でどんど焼き開催」児玉言子(南)「空の旅 第2弾」山口通(三鷹・下連)

「第1地区新年子供会のどんど焼き」鬼頭麻佐(本)「新春の東町界隈の話題」原利子(東)「新春お父バサロン「書初め他」」後藤誠一(北)「オレオレ詐欺防止のため防犯電話を設置しました。中々有効です」岡野正隆(西)「新しい年に入り、それぞれの活動もスタート」小餅友子(南)

「日赤奉仕団の懇親新年会に出席して」栢雲劬子(八)「今年の天文ショーの話」川鍋和代(境南)「中央福祉の会 りんどう会のお知らせ」皆藤弥峰(中)「桜野小のどんど焼き」木川憲子(桜)「地域の伝承行事どんど焼き昔遊び」高橋洋子(東)

「八幡町の榎本家に中島飛行機、青年学校について等分る資料が出てきました」渡邊卓治(八)「クリーンセンター屋上菜園、2年目スタート」新垣俊彦(西)「猫の鼻炎や腫のこなどウイルスの病気について」大村知之(本)「大寒の20日も過ぎ、来月は「梅の開花」春の訪れを待つ準備も必要に」鹿子木孝男(桜)「「エピソードドラグーマン」について結成のきっかけやバンド名の由来・活動について」松本良太(八)

「昨年12月、山梨県の増富ラジウム温泉に行きました」寺島美英子(北)「むーソーラー「日本と再生」上映&河合弘之監督講演」鎌内啓子(北)「60年前の戌年のうんちく」三井一夫(南)「熱海の温泉に滞在中、会員制別荘ライフの紹介」星野高明(東)「篠笛を習って6年、今では日本の曲・お囃子も吹けて楽しい」山口通(三鷹・下連)

「雑木林とごまだら草」田中雅文(境)「小倉に松本清張記念館を訪ねて」岡野正隆(西)「お父バサロン「手話」について」後藤誠一(北)「都市の雪かきはおっ上手に」藤川千草(本)「認知症サポーターフォローアップ講座に出席」川鍋和代(境南)

「市民社協だより「ふれあい」2月号」小餅友子(南)「地域の雪かきはどうでしたか?」鬼頭麻佐(本)「文化会館で武労連の芸能祭開催」木川憲子(桜)「「正しい雪かきで通りやすい道に」新聞投稿を読んで」高橋洋子(東)「雪の後を含めて、吉祥寺東町の様子」原利子(東)

「フクシマを思うシリーズ23、菅直人氏講演、ウオン・ウインツァン演奏」鎌内啓子(北)「むさしの消防署フェスタ開催・春の火災予防運動」内田道行(北)「赤十字子どもの家竣工式を迎えて」栢雲劬子(八)「御殿山2丁目スプリングパーティ開催」今村明美(御)「市民が作る水と緑のネットワーク」八幡町、千川上水、小金井桜の復活」渡邊卓治(八)

「大野田福祉の会、障害者支援交流広場について」寺島美英子(北)「梅の蕾もふくらみ、春の訪れを少しづつ感じる中で「予定表」にせかれる此の頃」鹿子木孝男(桜)「中央福祉の会で高齢者のための ひな祭りの集い」皆藤弥峰(中)「ひな祭りの話」島津好江(関)「篠笛について」山口通(三鷹・下連)

「地域の新たな拠点?「ゆとりえ」について」小餅友子(南)「武蔵野の雑木林を未来へつなぐ」田中雅文(境)「武蔵野市の小学校歌について」三井一夫(南)「老壮連合会趣味の作品展開催」後藤誠一(北)「PTA卒業シーズンに考えて欲しいこと」鬼頭麻佐(本)

「フクシマを思うシリーズ23「菅直人氏講演、ウオン・ウインツァン演奏・金子あい朗読」鎌内啓子(北)「早春の吉備路の名城巡りをして来ました」岡野正隆(西)「R桜堤の桜まつりを実施します」木川憲子(桜)「井の頭恩賜公園、かいぼりとあおぞら似顔絵」高橋洋子(東)「国分寺いずみホールで赤十字ボランティアフェスティバル開催」栢雲劬子(八)

「NPOむさしの歩こう会、新年度の予定について」金子恵一(中)「確定申告を無事に乗り切りました。楽しみはふるさと納税」星野高明(東)「むさしのFM市民の会の代表の松岡裕子さんを偲ぶ会を行います」中村茂美(南)「春は名のみの〜クリーンセンター屋上のじゃが芋の芽が出ています」新垣俊彦(西)「名勝小金井の桜復活に期待して」渡邊卓治(八)

「桜の報告と春の雪」原利子(東)「桜の開花が発表されましたが、桜堤団地の桜祭りは4月7日迄、3週間とは仕方がない!」鹿子木孝男(桜)「中央福祉の会のお花見が4月2日にあります」皆藤弥峰(中)「まちづくり局まとめの会について」寺島美英子(北)「旅立ちの時～卒業式に出席して」川鍋和代(境南)

次は、6000回めざして!!

* 出演予定者は、タウン情報紙「週刊きちじょう」の紙面およびホームページに掲載。

FM 78.2 MHz

では、リスナーの皆様からの情報・メッセージをお待ちしています。FAX、e-mailでお寄せ下さい。
TEL 0422-23-0782 FAX 0422-22-9090 〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-10-7 武蔵野商工会館3階

http://www.musashino-fm.co.jp 最新トピック・情報交換掲示板 e-mail info@musashino-fm.co.jp

むさしのFM市民の会企画 コーディネイト番組「発信！わがまち・武蔵野人」

あなたのそばの武蔵野人が続々登場！（2017年5/5～2018年3/30 789回～839回）

また1年たくさんの出会いがあり、素敵なお話を伺いました。生放送終了後のゲストの笑顔が何より嬉しい励み！
宮口文裕パーソナリティの個性が出てきて、まさしく武蔵野人の魅力が広がってきたところでしたが、
2018年4月6日からは、新パーソナリティの伊東かおりさんにバトンタッチ。
時間も4:10～4:30になります。

★毎週金曜午後4:10～4:30 公開生放送・土曜朝10:00～再放送

★インターネット同時配信！世界中で聴けます。

★放送後はHPポッドキャストでいつでもお楽しみ下さい。

ご観覧大歓迎、吉ブラのごついでにお気軽に3階スタジオへお立ち寄り下さい。

©2017年

- 5/5 中村真由美さん（北町）過ぎき連載好評！雑大講演も、「吉おぼちゃんの旅日記」90日間韓国語留学旅行を終えて
- 5/12 関下昌代さん（境）学生に即役立つ社会人の基本マナー授業！垂大非常勤講師4月最新刊「マナードリル」
- 5/19 市川順子さん（南町）〈井の頭公園100年特集〉フェスタ2017「みんなでマルシェ」世話役
- 5/26 小山信雄さん（北町）武蔵野消防署に新署長赴任、水防訓練の報告
- 6/2 下羽恵理子・矢崎ひとみさん（上連雀）三鷹市管弦楽団創立60周年「第九」創設指揮者小堀浩之先生追悼
- 6/9 入江則夫さん（関前）関前南小PTA新会長は多彩な民族楽器アーティスト様々な楽器演奏が子供たちにも人気！
- 6/16 川井信良さん（下連雀）文伸社長〈公園100年特集〉「井の頭公園100年写真集」「井の頭公園いきもの図鑑」出版！
- 6/23 佐藤誠（北町）・大谷内千秋さん（三鷹）NPOむさしの市民エネルギー・みたか市民協同発電コラボ。「日本と再生」上映
- 6/30 久保田涼子さん（北町）「第三世代が考えるヒロシマ 継ぐ展」世田谷ものづくり学校。祖母が被曝
- 7/7 大澤智恵子・新宮乙矢・菅原貴志さん（本町）「劇団め組」8年ぶり本公演「岡田以蔵」吉祥寺シアター
- 7/14 中原香織（南町）クローバープロジェクト東日本大震災復興応援チャリティコンサート
- 7/21 富樫チト（本町）絵本の古本屋Main Tent経営閉鎖したトムズボックスの本も一部引き取り、2015年オープン
- 7/28 杉田晴信・和智佐知子さん（境南）「殺陣浪士組」殺陣&ダンスのパフォーマンス通して！浅草人力車夫・ダンス演出
- 8/4 赤井祥彦（境南）山上ボクシングスポーツ。元日本バンタム級王者山上哲也のジム杵築大社前に。代表代行は元会社員
- 8/11 小林一夫さん（北町）近所のレストランでいつも演奏！ギタリスト・編曲・教本執筆etc。シンガー大野ちかさんとデュオ活動
- 8/18 秋山昌文さん・島津好江さん（関前）〈敗戦の夏を忘れない特集〉武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会はH13発足
- 8/25 中原香織さん（南町）シャンソン歌手 母・北桂子さん没後6年、追悼コンサート、武蔵野公会堂

むさしのFM市民の会 20周年

大きな特集は組めませんでしたが、
現在頑張っている市民の会運営委員
の気持ちを、一言にしてみました。

市 民の会の一員になり、視野、知識、
仲間、ネットワークが広がりました。
むさしのtoday・武蔵野人、これ
からも期待してください。

小餅 友子

武 蔵野には様々な
分野に精通する
人がこんなに多くい
らっしゃるのにびっく
りしています。

皆藤 弥峰



運営委員
一言
メッセージ

番 組（today、武蔵野人）、広報誌（On Air）
を市民の会で20年間続けている実績を、
誇りに思ってます。

鎌内 啓子

運

営委員になって10年余。名刺
を頂いてむさしのFMのPRに
努めて来ました。番組の質をもっと
高めねばならないと頑張ってます。

星野 高明

い

つもパワーを頂ける
皆さまとこれからも
仕事をしたいです。

土田 萬理子

縁

あってむさしのFM市民の
会に1月から参加すること
になりました。私にとっては今ま
でにない新たな世界!!
お役に立ちたいと思います。

小林 一夫

仲

間の輪がどんどん
広がって嬉しい！
ありがとう。

島津 好江

市

民ジャーナリストとは、日々
のなかで、身近で起きる出来
事、行事風景、匂い等々誰でも発信
出来る言葉がラジオを通して流れる。
人と人を繋ぐコーディネイト役に長
年関わってきたのは私の宝です。

中村 茂美



地

域の防災、防犯の志は
On Airを通して受け
継がれて行きます。

藤川 千草

エフエムむさしの(株) 放送課 久保田 浩友
20年前、1998年は長野五輪、サッカー W杯
日本初出場と、スポーツイヤーでした。来たる
2020東京五輪は東京の「ボランティアイヤー」
となりそうですが、むさしのFMはこれまでも
これからも、市民の会に期待しています。

★吉祥寺チャリティライブイベント「フクシマを思うシリーズ」8年目へ！

後援:(株)エフエムむさしの
協力:むさしのFM市民の会

2011年3.11「東日本大震災」3.12「東京電力福島第一原発事故」から7年が経ち8年めに入った。関連死を含め犠牲者は2万2千人以上、全国で7万3千人が今なお避難生活を送っています。一方、政府は何事もなかったように帰還をすすめ、東京オリンピックのために被災地の現状や復興をないがしろにしています。だんだん薄れていく震災の記憶、福島第一原発事故の被害…。「フクシマを思うシリーズ」は思いを共有する皆様に支えられこれからも「忘れない・風化させない」をモットーに福島の人々に心を寄せ、福島と共に生きていく覚悟のチャリティライブイベントを、吉祥寺で地道に粘り強く継続していこうと思っています。

(司会・朗読 金子あい) (鎌内啓子 記)

《2017年度開催報告》

◎ 第21回 5/27(土) 武蔵野プレイス 4Fフォーラム

お話:一井 唯史(元東京電力社員)

「原発事故のほんとうの事～賠償に明けくれて うつ病になった元東電社員の告白」

朗読:金子 あい 『一万円』青田恵子 他

演奏: Aeolian Duoさん(ギター&尺八)

元東電社員・一井唯史さんは東京電力で原発事故の企業賠償を担当し、過労のため体調を崩しうつ病を発症、労災申請をしました。補償業務の中で一井さんはどう対処してきたのか、東京電力とはどんな会社なのかをデータ、資料をパワーポイントで紹介しながら赤裸々に語った。尺八のブルース・ヒューバナーさんとギターの諏訪光風さんによる爽やかな演奏。



◎ 第22回 11/27(月) 吉祥寺光専寺 本堂

お話:菅野 瑞穂(きぼうのたねカンパニー代表取締役)

「福島の農業の現場から～放射能汚染と向き合う」

朗読:金子 あい 『長き不在』藤島昌治 『はだかんぼ』中村純

演奏: MINAMI & MIKIさん(オーボエ&ピアノ)

菅野瑞穂さんは20代若いファーマー。二本松で有機農業を2010年から始める。原発事故の放射能の影響を受けながらも農業を継続。2013年きぼうのたねカンパニーを設立し、人と自然をつなぐ体験プログラム「福島スタディツアー」をスタートし、年間200人の農業体験者の受け入れや地域コーディネートを行う。福島原発事故の教訓を世界に発信すると共に農業や自然との関わりの中で、自分らしい生き方を歩むきっかけを創る社会を目指す。若い行動力と思考の柔らかさに参加者は農業の未来に光明を感じた。MINAMI&MIKIの素敵なオーボエとピアノに心癒された。



◎ 第23回 3/18(日) 武蔵野公会堂パープルホール

お話:菅 直人(衆議院議員、元総理大臣)

「菅元総理が語るリアルな3・11、そして脱原発へ」

朗読:金子 あい 『福島双葉町の小学校と家族～その時、あの時』小野田陽子

演奏: ウォン・ウィンツァンさん(ピアノ)

菅元総理が金子あいさんとの対談で、福島第一原発事故の赤裸々な真実を当時の官邸の具体的な動き、東電幹部とのやり取り、ヘリコプターで原発爆発現場に踏み込み吉田所長との話などその時に国家の最高の責任者として何を見て何を実行したかを熱く語った。金子あいさんの「福島双葉町の小学校と家族～その時、あの時」は原発立地町、双葉町の小学校の教員が子供たちと家族が「その時」「あの時」をどう過ごしてきたかを克明に綴った人間の記録の朗読は、臨場感溢れ場内はシーンと聞き入った。瞑想のピアニストウォンさんの心に染める名曲数々の演奏は素晴らしかった。



* 次回は「原発難民となった宇宙飛行士～秋山豊寛半農反原発な日々」

6月5日(火)19時～吉祥寺光専寺 本堂、 お話:秋山豊寛 / 演奏:「クライスカルテット」

☆平成29年度「総合防災訓練」(2017.10.29) 中継レポート報告

○メイン会場—— 今年度は初めての試みで、メイン会場を本宿小学校のみにし、参加者は全員メイン会場参集になりました。避難所開設・ペット対策・介護トリアージ(仮称)・避難行動要支援者対策・障害者対応等の各訓練場所を回り、参加者の声を報告しました。強い風雨の中での開催は、準備した書類が濡れてしまう、筆記具の使い勝手、厳しい寒さなど、雨対策の課題が見え、どのような条件で起きるか予測のできない災害時に収穫の多い訓練になりました。(小餅友子 記)

○医療連携訓練会場—— 医療連携訓練会場を武蔵野陽和会病院およびむさしの市民公園で実施する予定だったが、生憎の大雨で急速市役所西棟5階会議室で実施。搬送されて来た負傷者をトリアージタグを手や足につけ軽症、重症に識別し素早く対応。災害時の医療現場で一番大切なことは搬送されて来た負傷者を初期の3分間で識別する判断力だと医師が強調していたのが印象的だった。(鎌内啓子 記)

On Air オン・エア — むさしのFM市民の会だより —

Vol.28(2018年4月発行)

代表代行:小餅 友子

編集・発行:むさしのFM市民の会 運営委員会

事務局:〒180-0003 武蔵野市吉祥寺南町3-7-2 中村方 TEL/FAX 0422-44-4719

題字・表紙デザイン:故松岡 裕子さん

運営委員:皆藤 弥峰 鎌内 啓子 小林 一夫 島津 好江 土田 萬里子 中村 茂美 藤川 千草 星野 高明